

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (NPO-IRI) 2019 年=令和元年 6 月 通常総会 決定

通常総会 スケジュール

【開催日、場所】2019 年 6 月 22 日(土) 於 IRI 本部(千葉市稲毛) 会議室

12:55 記念集合写真撮影 (希望者 全員)

13:00~15:30 IRI 総会

15:30~16:30 IRI 本部内 実験室見学/懇談(全員参加可)/ この間 IRI 理事会

16:30~18:30 懇親会 場所 IRI 本部 懇親会費 当日徴収 2千円(全員参加歓迎)

<IRI 本部所在地>

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 1108-2 ユウキビル 4 階 4FA IRI

電話：043-255-5481 FAX：043-255-5482

地図ご参照：<http://www.a-iri.org/iri-jp/irimap.pdf>

(白い小規模 5 階建て、ビルの手前を左折し 右に入口、1 階ピザハット店)

JR 総武線快速 稲毛駅 東口徒歩 15 分。東口からのバスで「ファミリーハイツ行き」もしくは「草野車庫行き」バス停 園生団地入口前 直前。

総 会 議 事

1. 審議事項

1.1 平成 30 年度 事業報告 <資料① p.2>

1.2 平成 30 年度 決算報告 <資料② p.9>

1.3 平成 30 年度 監査報告 <資料③ p.12> <監査報告書 p.21>

1.4 令和元年度(平成 31 年度) 事業計画

含む、「一般財団法人」等、他の組織を設立する。<資料④p.13、⑧組織表・組織図 p.19,20>

1.5 令和元年度(平成 31 年度) 予算計画 <資料⑤ p.15>

(解説) 令和元年度 活動予算書は、予期せぬ大きな委託などが入り、予算額をオーバーして使用するには、総会を再度開き承認を得なくてはならないので、決してオーバーしない金額を入れてある。

通常での実施は、参考資料 実施指針 <資料⑥ p.16>に沿う。

1.6 定款の改正： <資料⑦ p.17>

1.6.1 (特定非営利活動の種類) 第 4 条に「(1) 科学技術の振興を図る活動」の項目を挿入追加。

理由：法改正により可能となった

1.6.2 (公告の方法) 第 55 条を「官報掲載」等から「法人のホームページに掲載」に変更

理由：現実に合わせて合理化し、経費の節減を図る

1.7 令和元年度 役員選出 <資料⑧「役員名簿」 p.18>

2. 討議事項

2.1 今後の発展方向など

2.2 その他

1.1 平成 30 年度 事業報告 <理事会/総会 審議事項①>

(法第 10 条第 1 項関係様式)

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の報告

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なった。
- (2) 保健、医療、福祉事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等を行なった。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なった。
また、IT を活用した、種々の交流支援事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	100	国内外一般人 多数	11,469
保健、医療、福祉事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画の企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	80	国内外一般人 多数	5,748
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催、関連出版等支援、等 また、IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	60	国内外研究者、一般人 多数	5,404

本部 ならびに 情報・研究センター 報告

本部 報告 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進した。

他法人の設立推進 (名称：国際総合研究機構 一般財団法人(略称：IRI-F)が有力候補)

「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性やスポンサー候補との関係から必要性が増し、すり合わせ準備中で、2019 年度にも設立をめざす。

この中に、「潜在能力科学研究所」の設立をし、今後世界一のこの分野の研究所化を目指す構想である。

他法人を設立しても、現在の NPO 法人は残す必要が弘前支部の活動などで残す。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、継続した。

・IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任した。

NPO-IRI としては、下記のような 2013 年から「絵にかいた餅」のような構想で出発したが、現時点では、その第一歩として、最初の拠点創りの可能性を追求している。

なお、この財源は IRI とは別途を考えている。

2013 年 6 月に「いやしのビル」計画企画委員会(IP)を 2013 年 6 月 IP 設立以来、毎年の IRI 定例総会の承認を得て、「保健、医療、福祉事業」等に位置付け、情報研究センター内に「いやしのビル」計画企画委員会を立ち上げ、予算処置を含め、推進してきた。

IRI 全体の本拠との関連が深く、規模が大きいので、特別に、本部の項目に記す。

この間、「いやしのビル」計画企画委員会(IP)・討論会・戦略会議など十数回の会議を開催し、推進してきた。

大型スポンサー候補との関係にての実現の方法などの検討と交渉が継続された。本委員会設立時は、単に絵に描いた餅に過ぎなかったが、これらの活動を継続し、具体化に繋げたい。但し、都心の地価が異常に高騰しているので、都心では下落するまで待たなければならないかもしれない。

大型スポンサー候補等との関係で、当初の計画と別な形での目的実現の可能性も存在している。

平成 30 年度は、まだ企画段階で、物件が確定出来なかったもので、実施は、次年度以降に継続する。

本企画経費は、「仮払金」扱いとなっている。

「いやしのビル」計画の企画・推進

山本 IRI 理事長を中心に、IRI の本拠ともする、(仮称)「いやしのビル」構想を 10 年以上前から提唱してきた。下記、都心「いやしのビル」計画を企画・推進し、実現する。千葉を中心に、他地方にもフランチャイズ方式などで普及を目指す。

位置付け・所管・「いやしのビル」企画委員会の設置・予算処置

・本計画は、IRI 定款の(事業)第 5 条(1)②に定める、「保険、医療又は福祉の増進を図る研究と成果の普及事業」等に位置付けた。

・IRI 情報研究センター内に、「いやしのビル」企画委員会(委員長 山本幹男 IRI 理事長・IRI 情報研究センター長)を 2013 年に設置し、本件をこれが所管している。目的のための最適な計画、必要な法務・財務も含めて研究し、企画・実行した。

・この実現のために、IRI の準備金(移転等)を活用する。

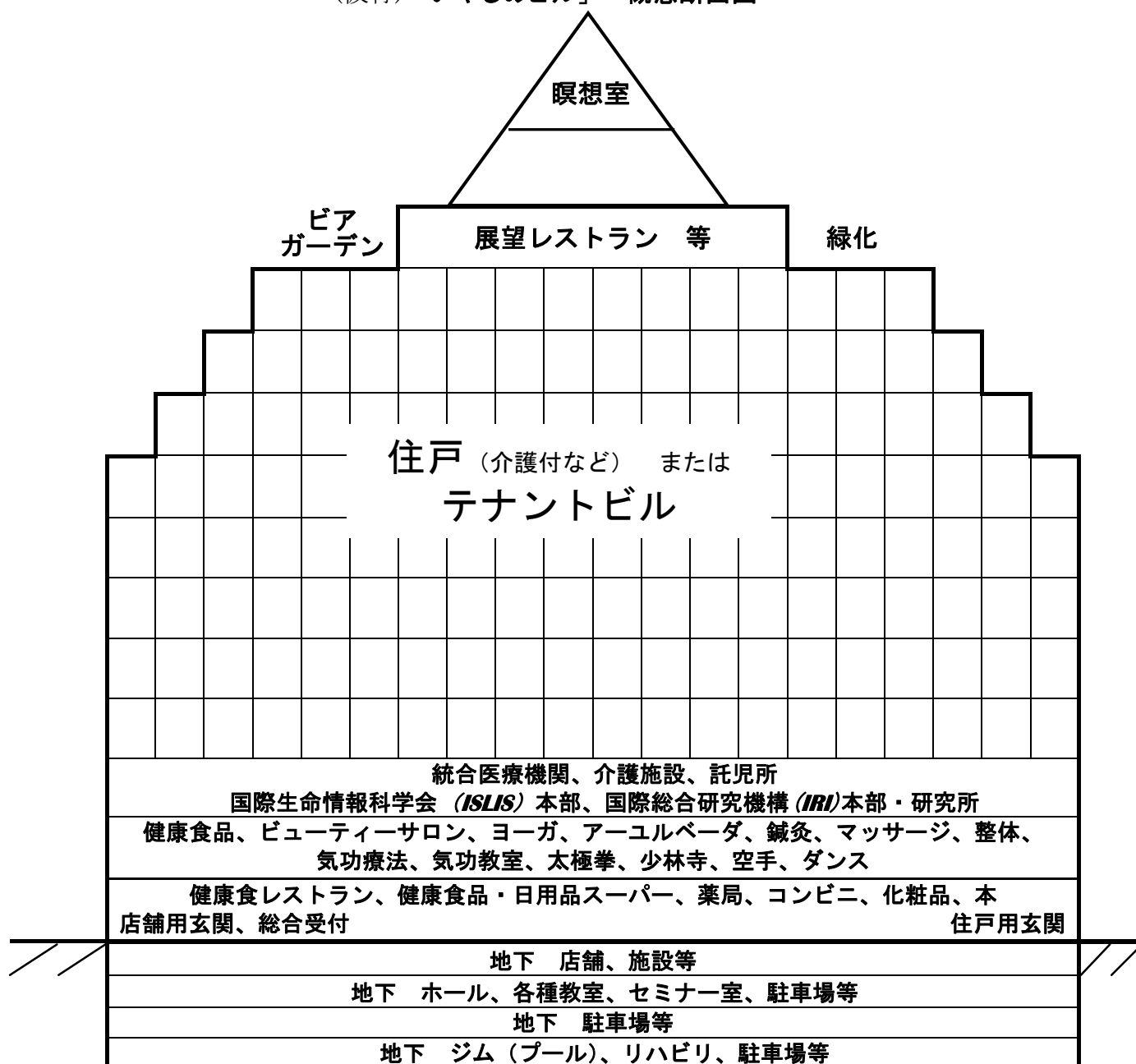
・IRI 総会は、本件の具体化は理事会に一任した。

都心「いやしのビル」計画 概要

1. 「(仮称) いやしのビル」を都心の駅 5 分以内程に建設する。
2. 建設用土地(商業地) 1,000 坪程を入手する。地主・企業・公共団体等の協力を得る方法も視野に入れる。
3. そこに、付加価値付のビルを建築する。
4. その内の、多くの部分は、「いやされたい方」にお住み頂く(この場合、初期投資の全部または大半を回収出来る。また、ビルの管理費の一部が確保できる)。他の良い方法も模索する。

5. 残りのスペースには、「いやしたい方」(統合医療機関、代替医療、IRI などを含む)や必要施設(会議室、スーパーなど)にご利用頂く。外来者にも開放する。(この事により、ビル運営費などが捻出できる。)
6. 企画・設計・土地・建物・諸費等の初期投資額は、概算数百億円規模となる。
7. この資金の大半は金融機関からの融資を受ける(大部分は数年の短期融資とする。場合によっては、一部は長期融資を受ける。)地主や企業・公共団体・スポンサー等の協力を得る方法も検討する。
8. 当計画の効果：
 - ・「いやされたい方」・「いやしたい方」双方に喜ばれる、いやしの拠点ビルが実現し、将来の保険・医療・福祉等を先導するものとして、多大な貢献をする。
 - ・雇用の促進：中規模以上のビルとなるので、このビルの企画・設計・建設・広報・開業・運営・保守の過程で、多くの雇用を促進する
 - ・経済の活性化：数百億円規模の事業となるので、貢献する。

(仮称)「いやしのビル」 概念断面図



本構想の権利は NPO 法人国際総合研究機構(IRI)が所有しています。 禁無断類似 転載・企画・設計・建設

IT を活用した種々の交流支援

当機構や諸団体の活動には資金が必要で、クラウド・ファンディングなど、IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索した。

情報・研究センター 報告 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

- ・「いやしのビル」計画は前の本部の項に記した。
- ・脳機能変化の研究
脳波など、脳機能変化の研究を継続した。
- ・統合医療・代替医療の評価研究
気を入れた生体試料のバイオフィトン・蛍光やガスの放射強度に関する研究。気功師等が非接触で気等を入れた、きゅうりの切口から放射されるフォトンやガスの放射強度が対照群と比し、統計的に有意に変化する事に関する研究を継続発展させた。
- ・潜在能力等の研究
人間の潜在能力に関する実験的研究と普及を精力的に継続した。
(1)2013.4 研究論文「瞑想者のキュウリへの非接触効果」、(2)2015.5 研究論文「ピラミッド型構造物が関与した特異な非接触効果の発見」、(3)2016.6 研究論文「ピラミッド型構造物による未知なるフォースの発見」、(4)2018.3 研究論文「キュウリの季節に依存した生体反応リズムの発見」、(5)2018.4 研究論文「キュウリ切断面から放出されるガス濃度と成長軸の関係」(6)2019.3 研究論文「ピラミッド型構造物と人間の無意識との関連による未知なる遠隔作用の発見」に関する研究論文が国際誌に掲載された。引き続き、(7)(8)の研究論文も、現在、外国誌に投稿準備中である。
- ・生体計測サービス
健康に関わる製品やサービスなどの心身への影響を、生体計測を用いて実証する生体計測サービスを継続実施した。
- ・テレビ番組制作に対する支援
テレビ番組制作に対する支援を継続した。
- ・人間サイエンスの会
超党派国会議員による人間の「潜在能力」や「地球の未来」に関する研究討論を行う国会議員連盟「人間サイエンスの会」の講演会（一般人の参加も可）の共催・企画・運営支援は、主として国会議員会館内での開催が、2015 年 4 月に創立より 18 年で 173 回となった。
この講演会は、その後議員会館の使用が困難などで中断され、2018 年頃この国会議員連盟も解散された。2018 年 1 月に、この種の講演会のなんらかの形で再開を議員より申し入れられ、検討中。
- ・IRI-College
IRI-College の「潜在能力研究科」E-講座「脳を知ろう！」を河野貴美子 IRI 副理事長を中心として、ほぼ毎月 1 回東京にて粘り強く開催し続け、年度末までに累積 75 回継続した。この間、大学教授クラスの参加者も得ている。
他のテーマを立ち上げる方向も検討中。
- ・統合医療・看護・介護・福祉とその研究・教育・普及
本事業に取り組み、訪問看護・訪問介護などに関する研究・教育・普及など可能な事から実施する団体との連携中。
- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
(1)「第 46 回」2018 年 8 月 24 日(金)～27 日(月) 高野山近く 天然温泉「ゆの里」にて、開催を共催

し、支援した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.36, No.2 の製作支援を行なった。

(2)「第 47 回」2019 年 3 月 9 日(土)・10 日(日) 東邦大学 医学部 3 号館 にて、開催を共催し、支援した。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37, No.1 の製作支援を行なった。

- ・ IRI 北杜健康研究センター

2013 年 10 月 1 日付で設立した 理事長 高橋武生
趣意骨子：山梨県北杜市を中心として、健康法を研究開発し・実施し、普及を図る。
昨年度に継続し、活動を継続中。

- ・ 幸福社会研究所(WHI) (2012 年 6 月創立)

平成 28 年度、理念創りとして、「**地球幸福憲章**」を、20 回程の討論会・検討会の開催やネット上での議論を活発に実施し、起案した。それを「IRI 幸福社会研究所創立 2 周年記念「**地球幸福憲章**」検討会」・「IRI 幸福社会研究所の総会」に諮り、確定させた。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。その後の「地球幸福憲章」の普及・組織活動などは、NPO-IRI から独立した、上部団体に属さない「**地球幸福憲章ネットワーク**」の「**世界本部**」や「**日本本部**」が実施することとした。その組織が、高名な提唱者や賛同者を集め、2014.9.9 に学士会館にて発表会と記者会見を実施した。2015.6 から毎年 IRI 総会日にも討論会を開催した。

- ・ その他は、前年度を継続した。

平成 30 年度 事業報告
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 報告

IRI 弘前支部は、引続き青森県内施設を中心に遠隔画像診断支援事業を行っているが、2015 年 10 月に仙台厚生病院の読影支援が終了して以来、収益は頭打ちの状況が続いている。

今年度は既存の青森県内医療機関からの依頼件数の増加及び新規取引として 1 施設拡大したものの、県内の施設の経営環境も良いとはいえず、収益の大幅増加には至らなかった。

以上

平成 30 年度 決算報告
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)
IRI 弘前支部・H30 年度事業決算書

分類	科目	収入金額	支出金額
売上高	売上高(読影業務受託費)	¥5,788,314	
	売上高(その他)	¥0	
	売上金額合計	¥5,788,314	¥0
売上原価	売上原価(対医師業務謝金)		¥4,886,690
	売上原価(その他)		¥0
	売上原価合計	¥0	¥4,886,690
販売費・	人 件 費		¥194,400
一般管理費	IRI本部経費分担金		¥150,000
	支 払 手 数 料		¥19,008
	家 賃		¥0
	保 守 費		¥0
	預り金(源泉税)		¥498,650
	仮 受 金		¥0
	事 務 用 品 費		¥80
	諸 会 費		¥0
	販売費・一般管理費合計	¥0	¥862,138
営業外収益	受取利息		
	受取利息合計	¥0	¥0
利益	営業利益		¥39,486
	経常利益		¥39,486

平成 30 年度 事業報告
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

長谷支部 報告

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	3 名
受益対象者の範囲人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収 入	0 千円
支 出	0 千円
内 容：	

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行った。

1.2 平成 30 年度 決算報告 (活動計算書)

<理事会/総会 審議事項②>

(法第 28 条第 1 項関係様式)

平成 30 年度 活動計算書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目	金 額 (単位 : 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
・年会費(入会金含む)	72,000		
・独自会費	124,000	196,000	
2 受取寄附金			
・受取寄附金	150,100	150,100	
3 事業収益			
・科学技術、文化、教育事業収益	50,000		
・保健、医療、福祉事業収益	5,788,314		
・国内・国際研究交流事業収益	3,800,000	9,638,314	
4 その他収益			
・受取利息	649		
・雑収入	168,000	168,649	
経常収益計			10,153,063
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当等	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
委託・協力経費	14,096,218		
旅費交通費	0		
消耗品	1,105,897		
会議費	98,096		
通信・光熱・水道費	307,251		
借料・移転費等	1,869,948		
印刷・成果発表経費	3,001,859		
減価償却	27,598		
雑費	2,116,228		
その他の経費計	22,623,095		
事業費計		22,623,095	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	211,250		
人件費計	211,250		
(2) その他経費			
委託・協力経費	1,307,750		
消耗品	4,471,011		
会議費	167,814		
通信・光熱・水道費	893,134		
借料・移転費等	1,646,644		
租税公課	0		
減価償却	0		
雑費	153,726		
その他の経費計	8,640,079		
管理費計		8,851,329	
経常費用計			31,474,424
当期経常増減額			-21,321,361
III 経常外収益(前期繰越)			
1 準備金			
・準備金(移転等)	23,927,692		
2 新事業準備借入金(組織内)	5,322,308	29,250,000	
経常外収益計			29,250,000
IV 経常外費用			
1 準備金			
・準備金(移転等)	2,600,000		
(当期準備金支出 21,327,692円)			
2 新事業準備仮払金	5,322,308	7,922,308	
経常外費用計			7,922,308
当期正味財産増減額			6,331
前期繰越正味財産額			290,968
次期繰越正味財産額			297,299

1.2 平成 30 年度 決算報告 (貸借対照表)

(法第 28 条第 1 項関係様式)

平成 30 年度貸借対照表
平成 31 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,428,181		
前払い金			
仮払い金	5,322,308		
未収金	4,329,848		
流動資産合計		16,080,337	
2 固定資産			
有形固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			16,080,337
II 負債の部			
1 流動負債			
・前受け金	3,000,000		
・未払い金	4,860,730		
流動負債合計		7,860,730	
2 固定負債			
・負債	0		
固定負債合計		0	
3 準備金			
準備金 (移転等)	2,600,000		
新事業準備仮払金	5,322,308		
準備金合計		7,922,308	
負債合計			15,783,038
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		290,968	
当期正味財産増減額		6,331	
正味財産合計			297,299
負債及び正味財産合計			16,080,337

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 固定資産の増減の内訳

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
有形固定資産						
什器備品	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,355,359	0
合計	1,355,359	0	0	1,355,359	△1,355,359	0

1.2 平成 30 年度 決算報告 (財産目録)

(法第 28 条第 1 項関係様式)

平成 30 年度財産目録
平成 31 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目・摘 要		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金 (情報・研究センター)	78,770		
手元現金 (NS)	0		
手元現金 (IRI-College)	104,300		
みずほ銀行普通預金① (小口)	4,077,080		
みずほ銀行普通預金② (大口)	102,041		
みずほ銀行普通預金③ (引落用 1)	103,601		
みずほ銀行普通預金④ (引落用 2)	22,372		
みずほ銀行普通預金⑤ (IRI-College)	318,676		
みずほ銀行普通預金⑥ (NS部会)	357,953		
みずほ銀行普通預金⑦ (弘前支部)	196,974		
みずほ銀行普通預金⑧ (幸福科学研究所)	274,070		
みずほ銀行普通預金⑨	100		
ゆうちょ銀行①	76,032		
ゆうちょ銀行② (IRI-College)	610,215		
ゆうちょ銀行③ (幸福科学研究所)	15,717		
ゆうちょ銀行④ (NS部会)	89,990		
上伊那農業協同組合普通預金	290		
京葉銀行定期預金	0		
都民銀行定期預金	0		
仮払い金 (新事業準備)	5,322,308		
未収金 (NS)	0		
未収金 (情報・研究センター)	3,800,000		
未収金 (弘前支部)	529,848		
流動資産合計		16,080,337	
2 固定資産			
有形固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			16,080,337
II 負債の部			
1 流動負債			
前受け金	3,000,000		
未払い金			
情報・研究センター事業委託費・経費	4,361,122		
弘前支部読影料・読影委託料・手数料等	499,608		
流動負債合計		7,860,730	
2 固定負債			
負債	0		
固定負債合計		0	
3 準備金			
準備金 (移転等) (当年度 21,327,692円減)	2,600,000		
新事業準備仮払金	5,322,308		
準備金合計		7,922,308	
負債合計			15,783,038
正味財産合計			297,299

1.3 平成 30 年度 監査報告 <理事会/総会 審議事項③>

北川壽昭監事と大山玄監事による、特定非営利活動法人 国際総合研究機構の平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの平成 30 年度の事業報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査が行われた。その結果の 監査報告書を最終項に添付した。

1.4 令和元年度 事業計画 <理事会/総会 審議事項④>

(法第 10 条第 1 項関係様式)

令和元年度 事業計画書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の計画

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、代替医療、人間の潜在能力、理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なう。
- (2) 保健、医療、福祉、町創り事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保険・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画・街創りの企画・推進、等を行なう。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なう。
また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	100	国内外一般人 多数	70,000
保健、医療、福祉、街創り事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合医療・代替医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画・街創りの企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	80	国内外一般人 多数	80,000
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催・関連出版等支援、等 また、人的並びに IT を活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	60	国内外研究者、一般人 多数	10,000

令和元年度 事業計画
平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

本部 ならびに 情報・研究センター 計画

本部 計画 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進する。

他法人の設立推進 (名称：国際総合研究機構 一般財団法人 (略称：IRI-F) が有力候補)

「一般財団法人」は設立も運用も容易なことから、資産の安全性やスポンサー候補との関係からも必要性が増し、2019 年度にも設立をめざす。

この中に、「IRI 潜在能力科学研究所」の設立をし、今後この分野の世界一の研究所化を目指す。

他法人を設立しても、現在の NPO 法人は残す必要が弘前支部の活動などである。

- ・ IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想

他財源活用にて、その第一歩を踏み出す構想の可能性を追求する。

本構想は他資金にて行うので、当機構としては、今までのような、巨額の予算計上は行わない。

- ・ IRI 総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

人的並びに IT を活用した種々の交流支援

人的並びに IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施する。

特に、大学や他の研究機関との連携は、優秀な人材確保のためにも急務である。

人材の公募を開始

研究・技術・建築設計士・IT 広報・事務・秘書など、各種人材の公簿を実施する。

勤務地は、当面は千葉市稲毛区 JR 総武線 快速停車駅 近辺。

自薦、他薦者は、山本幹男理事長まで、nsnpoi@gmail.com 090-9232-9542 Fax 043-255-9143

書類送付先： 理事長分室 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 山本幹男

情報・研究センター 計画 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

・ 先端科学技術等・街創り等に関する研究・教育・普及・推進・支援を本年度より新規に、資金導入量に従って実施する。

・ 国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援

・ 「第 48 回」2019 年 8 月 23 日(金)～26 日(月) 福島県耶麻郡猪苗代町 猪苗代観光ホテルにて、開催を共催し、支援する。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.37, No.2 の製作支援を行なう。

・ 「第 49 回」2020 年 3 月 14 日(土)・15 日(日) 東邦大学 医学部 3 号館 にての開催予定

(日にち会場が今後変更となることもある)を共催し、支援する。当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」Vol.38, No.1 の製作支援を行なう。

・ その他は、前年度を継続する。

令和元年度 事業計画
平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

弘前支部 計画

1. 依頼件数増により一定の利益を上げられることが見込まれるため、引き続き新規施設開拓および既存施設の深堀りにより前年度比10%増の売上を目指す。 今後とも、質の高い読影レポートの提供により、着実に依頼件数を増やし、地域放射線医療に貢献していく。

2. 今期の計画

- 1) 読影の依頼を受ける青森県内施設数を現状の7施設から9施設に増大する。
- 2) 既存施設の深堀を進めるため、関係者との良好な関係構築やレポートの満足度向上による依頼件数増を狙う。
- 3) 遠隔読影に使用しているコンピュータシステムのセキュリティ向上、モニターの更新を行いさらなる安全かつ品質向上を目指し環境を整備する。

長谷支部 計画

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用した、健康づくりの調査研究
実施日	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	10 名
受益対象者の範囲人数	研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収入	110 千円
支出	110 千円
内容:	

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行う。

5. 令和元年度予算計画 <理事会/総会 審議事項⑤>

(法第 28 条第 1 項関係様式)

令和元年度 活動予算書

平成 31 年 4 月 1 日~令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目	金 額 (単 位 : 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
・年会費(入会金含む)	200,300		
・徴収会費	2,000,300	2,200,000	
2 受取寄附金			
・受取寄附金	200,000,300	200,000,000	
3 事業収益			
・科学技術、文化、教育事業収益	70,000,300		
・保健、医療、福祉事業収益	80,000,300		
・国内・国際研究交流事業収益	10,000,300	160,000,000	
4 その他収益			
・受取利息	10,300		
・雑収入	300,300	310,000	
経常収益計			362,510,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
・給与手当等	100,000,300		
・人件費計	100,000,300		
(2)その他経費			
・委託・協力経費	100,000,300		
・旅費交通費	15,000,300		
・消耗品	10,000,300		
・会費費	10,000,300		
・通信・光熱・水道費等	10,000,300		
・借入・借越費等	6,000,300		
・印刷・成果発表経費	10,000,300		
・減価償却	2,000,300		
・雑費	8,000,300		
その他の経費計	171,000,300		
事業費計		271,000,000	
2 管理費			
(1)人件費			
・給与手当等	20,000,300		
・人件費計	20,000,300		
(2)その他経費			
・委託・協力経費	20,000,300		
・消耗品	3,000,300		
・会費費	2,000,300		
・通信・光熱・水道費等	10,000,300		
・借入・借越費等	5,000,300		
・租税公課	1,000,300		
・減価償却	3,000,300		
・雑費	5,010,300		
その他の経費計	59,010,300		
管理費計		69,010,000	
経常費用計			340,010,000
当期経常増減額			22,500,000
III 経常外収益			
1 償借金(前期繰越)			
・償借金(移転等)	2,600,300		
2 新事業償借金借入金(経緯内)	5,322,308	7,922,308	
経常外収益計			7,922,308
IV 経常外費用			
1 償借金			
・償借金(移転等)	25,100,300		
2 新事業償借金(返済合)	5,322,308	30,422,308	
経常外費用計			30,422,308
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額			297,299
次期繰越正味財産額			297,299

<理事会/総会 審議事項⑥>

令和元年度 活動予算書

平成 31 年 4 月 1 日~令和 2 年 3 月 31 日

(参考資料 実施指針)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

科 目	金 額 (単位 : 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
・年会費(入会金含む)	200,000		
・独自会費	300,000	500,000	
2 受取寄附金			
・受取寄附金	10,000,000	10,000,000	
3 事業収益			
・科学技術、文化、教育事業収益	30,000,000		
・保健、医療、福祉事業収益	10,000,000		
・国内・国際研究交流事業収益	7,000,000	47,000,000	
4 その他収益			
・受取利息	10,000		
・雑収入	300,000	310,000	
経常収益計			57,810,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当等	6,300,000		
人件費計	6,300,000		
(2)その他経費			
委託・協力経費	9,000,000		
旅費交通費	3,000,000		
消耗品	3,000,000		
会費	1,000,000		
通信・光熱・水道費等	3,000,000		
借料・移転費等	4,000,000		
印刷・成具発表経費	5,000,000		
減価償却	1,000,000		
雑費	2,000,000		
その他の経費計	31,000,000		
事業費計		37,300,000	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当等	6,000,000		
人件費計	6,000,000		
(2)その他経費			
委託・協力経費	4,000,000		
消耗品	5,000,000		
会費	1,000,000		
通信・光熱・水道費等	1,500,000		
借料・移転費等	2,000,000		
租税公課	0		
減価償却	500,000		
雑費	510,000		
その他の経費計	14,510,000		
管理費計		20,510,000	
経常費用計			57,810,000
当期経常増減額			0
III 経常外収益			
1 退職金(前期繰越)			
・退職金(移転等)	2,600,000		
2 新事業退職金借入金(組織内)	5,322,308	7,922,308	
経常外収益計			7,922,308
IV 経常外費用			
1 退職金			
・退職金(移転等)	2,600,000		
2 新事業退職金(仮払金)	5,322,308	7,922,308	
経常外費用計			7,922,308
当期三味財産増減額			0
前期繰越三味財産額			297,299
次期繰越三味財産額			297,299

1.6 定款の改正 <総会 審議事項⑦>

改正点 1： 第 2 章 目的及び事業 (特定非営利活動の種類) 第 4 条 に

(1) 科学技術の振興を図る活動 の項目を挿入し、以下の番号をずらす。

(改正理由： 法人設立時になかった本項目が法改正により可能になっているため。)

改正点 2： 第 9 章 公告の方法 (公告の方法) 第 55 条 の内容

「この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。」を

「この法人の公告は、この法人のホームページに掲載して行う。」に変更。

(改正理由： 公告の方法をホームページ掲載に絞り、実態に合わせ、合理化と官報掲載をやめ節約するため。)

これらの定款改正の施行日は、理事会にて決める。

(参考)

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 定款

平成 13 年 10 月 4 日 法人設立総会 定款制定
平成 14 年 1 月 8 日 内閣総理大臣 法人設立認証
平成 14 年 1 月 21 日 施行 法人成立 (法務局登記完了)
令和 元年 6 月 22 日 第 4 条、第 55 条改正総会決定・施行日は理事会に一任

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、科学技術などの研究とその周辺活動の学際的・国際的かつ柔軟で迅速な推進に関する事業を行い、不特定かつ多数のものに対する、理性と叡智、世界の文化・教育、心身の健康、生活と社会・環境の向上、生き甲斐の創成、情報交流に寄与し、福祉と自然との調和ならびに世界の平和に貢献することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 科学技術の振興を図る活動 (本項目を挿入する)
- (2) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (3) 社会教育の推進を図る活動
- (4) まちづくりの推進を図る活動
- (5) 文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (6) 環境の保全を図る活動
- (7) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動
- (8) 国際協力の活動
- (9) 子どもの健全育成を図る活動
- (10) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 55 条 この法人の公告は、この法人の 掲示場に掲示するとともに、官報 ホームページに掲載して行う。

1.7 役員選出 <理事会/総会 審議事項⑧>

令和元年度 役 員 名 簿 (令和元年 7 月 1 日から令和 2 年 6 月 30 日まで)

令和元年 6 月 22 日総会版
特定非営利活動法人 国際総合研究機構

役 名	氏 名	所属・肩書	備 考
会 長 (理事外)	高良 和武	(財) 総合科学研究機構 理事長、(学) 筑波研究学園 会長 東京大学 名誉教授 元 科学技術庁 参与	元 理事長 (名誉職)
理事長	山本 幹男	国際生命情報科学会(ISLIS) 理事長(元会長)・編集委員長 元 東邦大学理学部 客員教授・千葉大学大学院 助教授 元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長 元 ワシントン大学 にて研究	情報・研究 センター長
副 理事長	河野 貴美子	IRI 健康科学研究所 所長、IRI 生体計測研究所 所長 国際生命情報科学会(ISLIS) 副会長(元会長)・事務局長 元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学	
理 事	池上 直彦	長野県 伊那市 市議会議員 元 長野県伊那市 長谷総合支所長、元 産業振興課長 元 伊那市観光協会観光 プロモーター	長谷 支部長
理 事	鈴木 エドワード	鈴木エドワード建築設計事務所 代表取締役	
理 事	ベッカー カール ブラッドリー (BECKER CARL BRADLEY) (別華 薫)	京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授	京都大 支部長
理 事	向井 俊博	(有) コパン 代表取締役、 元 富士通デジタル・テクノロジー(株) 取締役	
理 事	高木 治	IRI 情報研究センター 科学部長、 元 埼玉短期大学 情報メディア学科 准教授	事務局長
理 事	白木 享介	PSP 株式会社 取締役 兼 執行役員	弘前 支部長
理 事	青山 圭秀	カリフォルニア州立大学元 客員教授 (株) アートオブサイエンス 代表取締役	
監 事	北川 壽昭	国際生命情報科学会(ISLIS) 幹事、 NPO 法人 気功文化センター 常務理事、 元 日本電気 医療機器事業部エグゼクティブエキスパート	
監 事	大山 玄	IRI 主任研究員、多摩リハビリテーション学院 非常勤講師、 元 郵政省電波研究所 主任研究官、 元 徳島大学医学部 講師	

前年度からの役員変更 理事退任 三宅 俊明 (PSP 株式会社 取締役 会長 弘前支部長)
理事追加 白木 享介 (PSP 株式会社 取締役 兼 執行役員、弘前支部長)
理事追加 青山 圭秀 (カリフォルニア州立大学元 客員教授
(株) アートオブサイエンス 代表取締役)
幹事(役員外) IRI 情報研究センター 技術部長・主任研究員 世一 秀雄
IRI 情報研究センター 理事長補佐・主任研究員 根本 泰行

特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (IRI:アイリ) 組 織 表

2019 年 6 月 22 日

■ IRI 会長 (名誉職) 高良 和武 ((財) 総合科学研究機構 理事長、(学) 筑波研究学園 会長、東京大学名誉教授、元科学技術庁 参与)	■ IRI 長谷支部 (従たる事務所) 支部長：池上 直彦 理事 (伊那市議会議員、元 長野県伊那市 長谷総合支所長、元 伊那市観光協会観光 プロモーター) 電話：0265-98-2211, Fax: 0265-98-2029 E-mail: iina00093.ikegami@gmail.com 支部：〒396-0401 長野県伊那市長谷非持 2654
■ IRI 理事長 山本 幹男 (元 東邦大学 客員教授、元 科学技術庁 放射線医学総合研究所 研究室長、元 ワシントン大学 にて研究、元 千葉大学 客員助教授、元 東北大学 講師) 電話 090-9232-9542 Fax: 043-255-9143 E-mail: nsnpoiri@gmail.com ■ IRI 副理事長 河野 貴美子 (IRI 健康科学研究所所長、国際生命情報科学会 副会長、元 日本医科大学) ■ IRI 理事長補佐 根本 泰行 IRI 主任研究員	■ IRI 弘前支部 (従たる事務所) 支部長：白木 享介 理事 (PSP (株)取締役兼執行役員) 〒106-0031 港区西麻布 4-16-13 西麻布六本木通ビル (9 階 PSP 内) 電話：03-3406-2310, Fax: 03-5485-2479 E-mail: kyosuke.shiraki@psp.co.jp 支部：〒036-8003 青森県弘前市駅前町 15-3 武田ビル 電話：0172-31-0818, Fax: 0172-31-0828 E-mail: s.matsuyama@psp.co.jp
■ IRI 本部 (主たる事務所) (IRI 連絡先 当欄下記) IRI 情報・研究センター 本部長・センター長：山本 幹男 理事長 副本部長：根本 泰行 IRI 主任研究員 事務局長：高木 治 IRI 情報研究センター 科学部長 実務主任：古谷 祐子 IRI 連絡先 〒263-0051 千葉県稲毛区園生町 1108-2 4 階 電話: 043-255-5481, Fax: 043-255-5482 E-mail: iri@a-iri.org http://www.a-iri.org/iri-jp/	■ IRI 京都大支部 支部長：別華 薫 (BECKER, Carl Bradley) 理事 (京都大学 医学部内 政策のための科学ユニット特任教授) 〒606-8501 京都市左京区近衛町 京都大学 医学部内 電話：075-753-9486, Fax: 075-753-9486 E-mail: becker.carlbradley.5e@kyoto-u.ac.jp

海外支部

■ IRI 北戴河支部 (中国河北省) 支部長：王 鳳桐 主任研究員 (中国 河北省 医療気功病院 院長) 河北省医療気功病院 内 中国 河北省 北戴河東経路 198 号 電話：+86-335-4025753 Fax：+86-335-4025754 日本連絡先：IRI 情報・研究センター

研究組織等

■ IRI 倫理委員会 委員長：河野 貴美子 IRI 副理事長	■ IRI 幸福社会研究所 (連絡先：IRI 情報・研究センター内) 所長：伊藤 武彦 和光大学 教授
■ IRI 生体計測研究所 (IRI 情報・研究センター内) 所長：河野 貴美子 副理事長 (元 日本医科大学)	■ IRI 生命哲学不知火研究所 所長：北岡 秀二 (国際生命情報科学会 特別顧問、元 人間サイエンスの会 顧問、元 法務政務次官・元 参議院議員・参議院文教科学委員長) E-Mail: ryozan@stannet.ne.jp
■ IRI 生体放射研究室 (IRI 情報・研究センター内) 室長：山本 幹男 理事長	■ IRI 北杜健康研究センター 理事長：高橋 武生
■ IRI 健康科学研究所 (IRI 情報・研究センター内) 所長：河野 貴美子 副理事長 (元 東邦大学 理学部 非常勤講師、元 日本医科大学)	■ IRI 理論物理学研究所 所長：種市 孝 (元 東京大学、電気通信大学) 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 1-35-22 E-mail: sanshiro201@dream.bbexcite.jp Fax: 042-356-0283
■ IRI 健康法普及会 (IRI 健康科学研究所付属) 会長：伊藤 正敏 (東北大学 名誉教授、仙台画像検診クリニック 院長)	■ IRI 自然愛好会・自然研究会 (IRI 情報センター内) 会長：世一 秀雄 (IRI 情報研究センター 技術部長) E-mail: yoichi@npo-iri.org
■ IRI - College (アイリ・カレッジ) (IRI 情報センター内) 学 長：山本 幹男 理事長 http://iri-college.org/ 副学長：河野 貴美子 副理事長 E-mail: npo.iri.college@gmail.com	

■ IRI 「いやしのビル」企画委員会 委員長：山本幹男 IRI 理事長 電話 090-9232-9542 E-mail: nsnpoiri@gmail.com

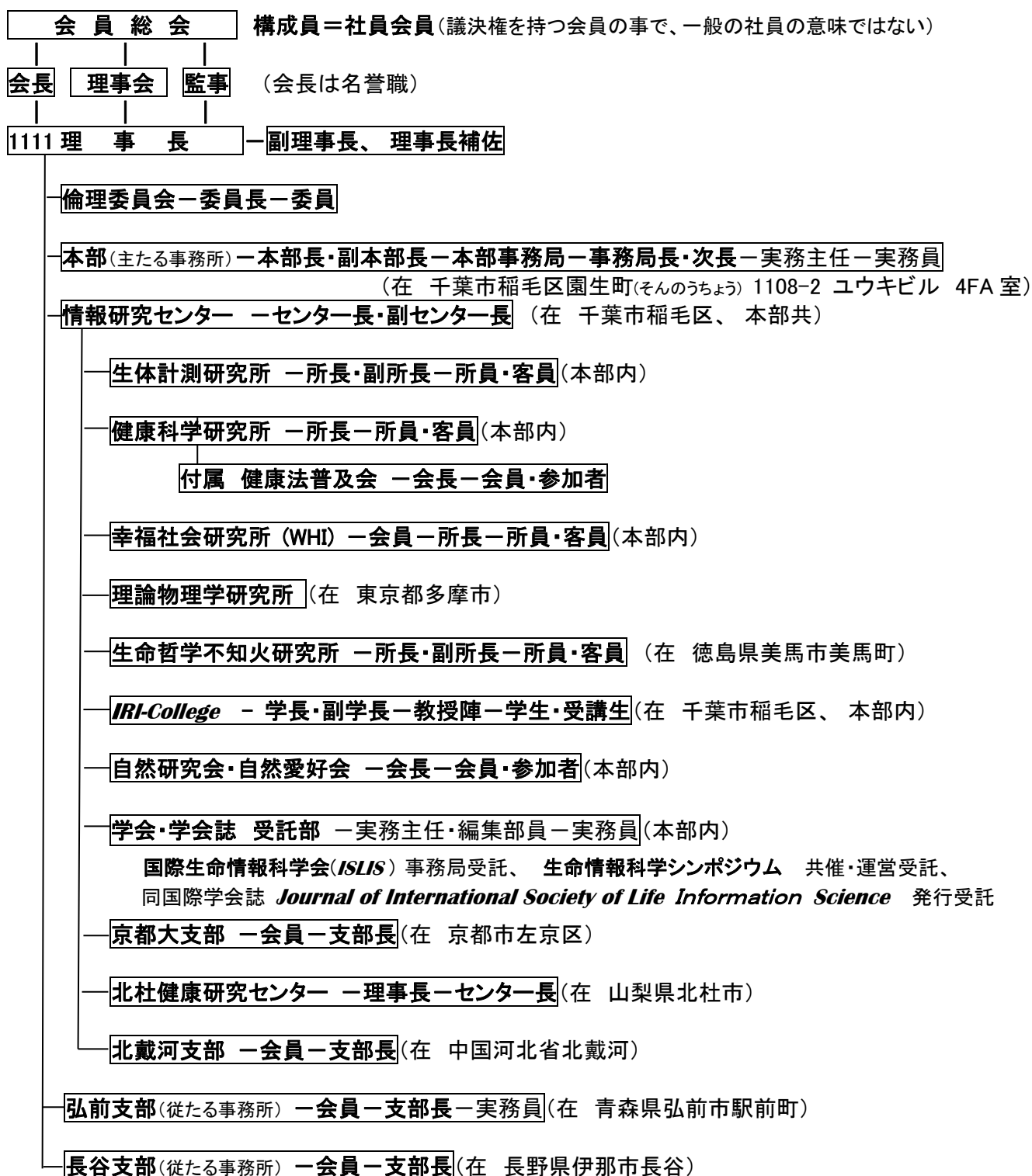
関連団体

事務局受託：「国際生命情報科学会 (ISLIS)」http://www.islis.a-iri.org/ islis@a-iri.org IRI 情報・研究センター内
--

NPO - International Research Institute (NPO-IRI)
 特定非営利活動法人 国際総合研究機構 (略称: NPO-IRI、アイリ)

組 織 図

2019 年 6 月 22 日 版



平成30年度 監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 国際総合研究機構
理事長 山本 幹男 殿

令和元年5月27日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度の活動報告、事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について監査を行った。

監査の結果は下記の通りである。

記

1. 事業は本会の目的を達成するために、事業計画に基づき適正に執行されていることを認める。
2. 財務は本会定款に従い本会事業のために正しく運営されていることを認める。
3. 活動計算書、貸借対照表、および財産目録は、本会定款に従い本会の財産および収入支出状況を正しく示しているものと認める。

以上

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

監事

北川 壽 昭 

監事

大 山 玄  印